



秋田県立新屋高等学校 理科研究部

秋田県秋田市豊岩石田坂字鎌塚77番地3

～在来種保全と外来種の有効活用～



本校のある新屋地域の大森山動物園塩曳潟は、絶滅危惧種であるゼニタナゴやシナイモツゴ、キタノアカヒレタビラなどが生息する、世界的に見ても貴重なホットスポットです。しかしながら、ウシガエルやアメリカザリガニなどの外来種の影響が大きく、在来種にとって深刻な問題となっています。そのため、在来種保全に向けて、動物園・NPO・県立大学・新屋高校等が連携してモニタリング調査や外来種駆除に取り組んでいます！

これまで、駆除した外来種は、動物園にお願いして動物のエサにしたり、廃棄物として処理したりしてきましたが、近年の肥料価格の高騰や有機農地拡大を目指す世界的な流れを鑑み、日常的に駆除している外来種に肥料としての価値を見出そうと研究に取り組みはじめました。昨年反省を活かして取り組んだところ、今年度は、葉野菜において大きな成果を得ることができました！